



ク  
ン  
ニ  
ー  
だ  
い  
す  
き

マ  
ゾ  
犬  
な  
僕  
の

初  
体  
験

ああ、僕は自分で思ってた以上に変態野郎なのかもしれない

そんなことを考えながら、また内ももへと舌を這わせていると、しばらくして

ジジジジジ…

とファスナーの下がる音が聞こえた

顔を上げると、顔を赤らめながらも務めて平静を装うレイコ様がいた

「もういい、舐めろ  
私を満足させるまで舐めてみせろ！」

「あああ、ありがとうございます！」

胸元から下がってきたファスナーは、そのままレイコ様のボンテージを真っ二つに割るように裂けていった

当然、おっぱいも丸見えだ

大きくて形のいいおっぱい  
どうしても目で追ってしまう

すると、またバシッと平手打ちをされた

「お前はクンニが好きで来てるんだろ？胸は無した！」

「はいっ」

真っ二つに割れたボンテージを淫らに纏ったレイコ様は、  
またソファで大きくM字開脚をして、僕の目の前におまんこを見せてくれた

そこには、赤くぷっくりと膨れたクリちゃんと、縦長に割れてじっとり濡れた穴が開いていた

待ち望んだ、レイコ様の生おまんこ…  
僕は感激した

強気な女王様を、ここまで濡らすことができたのか、と少し自分が誇らしかった

それが嬉しくてまじまじと見つめ過ぎてしまったようだ

「おい、早く舐めろ」

とレイコ様に一喝されてしまった

「かしこまりました」

僕は待ちに待った、大好きなおまんこを目の前にして、思いっきり顔をうずめた

まずは香りをめいっぱい堪能する  
甘酸っぱい独特な香り、んー、たまらない

そして鼻先でぷっくりとしたクリちゃんをスリスリしながら愛でていく

それと同時に閉じた唇でマン汁を左右にまんべんなく塗る

こうしていると、どんどんマン汁が溢れてくるからたまらない

マン汁が溢れ出てきたら、そのまま直接口をつけて飲んでいく

ジュジュジュジュジュと音を立てて、おまんこの中から直接マン汁を飲んでいく

ん～、最高…

次にビラビラの周りを舌で撫で回すようにしたら、  
チューっとクリちゃんに吸い付く

この時レイコ様の腰がビクッと浮いた

顔を伺ったら、肘掛けにもたれていたのが横顔しか見られなかった

でも、きっとレイコ様はクリちゃんが好きなんだ

そう確信した僕は、チューっと強めに吸った後、舌のザラザラとした面で舐め上げる

次は、舌先を尖らせてチロチロと小刻みに弾いていく

こうしてるうちに、マン汁が大洪水を起こしていた

こんなマヌケで情けない僕が、レイコ様を気持ちよくさせている

嬉しくて僕のチンコも大喜びだ

懲りずにまたカチカチになっている

僕はベルトをカチャカチャと外し、汚いチンコを丸出しにし、  
右手に握りしめて上下に擦り始めた

レイコ様のマン汁を飲みながらチンコをしごく…  
最高に気持ち良かった

しかし、興奮した僕の息遣いでバれてしまったようだ

レイコ様に顔面を蹴り飛ばされてしまった

「触るなと言ったはずだ」

「申し訳ありません、でも我慢できなくて…」

「情けないやつだ…代わりに私がいじってやろうか？」

「い、いいんですか！？」

床にどすんと腰を下ろして間抜けにチンコをさらけ出している僕を見下ろすように、  
レイコ様が立ち上がった

すると、グニグニと足でこねくり回された

「レイコ様、そ、それは…」

「なんだ？不満か？」

「滅相もございません…♡」

マヌケに腰を落とした僕のチンコを、レイコ様が足で踏んでくださっている

僕の見上げるレイコ様は、ボンテージが左右に裂け、おっぱいは丸出し  
なんならおまんこも丸見えだ

こんな絶景を眺めながら足コキして頂けるなんて…

「レイコ様、イク…イきそうです…！！」

もうすぐで出そう、そんな時

スッ

レイコ様の足がどけられた

「お前がイッてどうするんだ、  
私を満足させに来たんだろ、絶対に射精はするなよ」

僕はイク寸前でお預けをくらっしまい、不完全燃焼で悶々としていた

「こっちへ来い」

レイコ様に連れてこられたのは先程のソファではなく、マットだった

「ここに横になれ」

僕は言われるがまま仰向けに横たわった

すると、レイコ様が僕の顔の上に跨ってきた  
顔面騎乗位だ

「さあ、満足させてもらおうか」

そう言うとレイコ様は前後に腰を動かしてきた

「うぐっ、ぐふっ…♡」

苦しい…けど、これはかなり興奮する

僕は腰を振るレイコ様の為に舌を突き出し、一心不乱にベロベロと動かし舐め回した

口内にはマン汁がたんまり流れ込んでくる

うっすら見えるレイコ様の顔は気持ちよさそうだ

嬉しい

レイコ様にもっと気持ちよくなってもらわなくては

そう思っていたら自然と胸に手が伸びてしまった